（日刊）第19731号　（昭和19年5月30日第三種郵便物認可）

日本証券新聞

Nihon Securities Journal since 1944, a member of JIA

2016年[平成28年] 7/27 水曜日（大安）

1カ月4,988円／1部240円

日経平均 16,383.04 −237.25

日本証券新聞 Digital www.nsjournal.jp

今日の紙面
カヤック ポケモン攻略マップwiki開始……2面
リニア関連の低位株を探る ……2面
特報 大変身を遂げたＪＡＭ …最終面
ファンド情報 みずほ投信投資顧問
「米国地方債ファンド2016−07」…最終面

TOPIX週足3カ月（直近）

発行所＝日本証券新聞社2016　〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町２−16−１　土曜・日曜・祝日付は休刊　日本証券新聞 Facebook https://www.facebook.com/nsjournal　販売に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9415　記事に関するお問い合わせ TEL 03-6661-9419（午前10時から正午まで）

トップインタビュー 一蔵 河端 義彦代表取締役社長

和装事業で「維新」を起こす

若い女性に向け情報発信 ウエディング事業も好調

呉服の販売、振袖の販売・レンタルなどの「和装事業」と結婚式場運営の「ウエディング事業」を推進する一蔵（6186・2部）の業績が順調に拡大している。今3月期第2四半期から連結業績に移行し、人経費やプロモーション費用の増加に吸収され、増収増益を見込む。また、「学祭・サークル応援ナビ」では明治維新（三侯）のひとり大久保利通の青年期名にちなんで河端義彦代表取締役社長=写真=が命名、きもの業界で維新を目指す河端社長にインタビューした。

一蔵
河端義彦代表取締役社長

きもの業界の流通革命

きもの業界は、返品の山が生じるなど特殊な流通形態、業界慣習があり、業界に対してマイナスイメージが一時期あった。また、振袖やきものは高額というイメージが消費者にあった。この業界動向をチャンスだと思い改革の先兵として創業来25年間、流通改革にチャレンジしてきた。インクジェットプリンタの導入メーカーと提携し前期EBコミュニティ「SAKURA学園」を起ち上げたが、今後10年間は成人を迎える女性の人口は毎年60万人ではほぼ変わらないのだ。つまり、3000億円前後の安定した需要が控える中、一蔵の和装事業売上高は前期実績で90億円強とし分シェアを拡大させる余地がある。このうち、まず1000億円市場とされる振袖市場の3割を目標としている。

若年層へのアプローチ

成人式は振袖などきものに接する入り口となる。その後、お見合、結婚、社会、趣味、とその一ニーズは変わってくる。若年層を取り込むことが重要で、そのマーケティング手法として、17歳から20歳の女性向けWEBコミュニティ「SAKURA学園」を起ち上げ、前期の会員数770名から今期は1万7000名への拡大を目指している。また、「学祭・サークル応援ナビ」では全国約900のサークルが参加。ハウジングなど仮装用需要にも対応したファッションレンタル事業を開始している。

確かな呉服・振袖市場

レンタルを除いた呉服市場の小売り規模は、ここ数年間3000億円近辺で推移している。少子化とともに、関西エリアの明石とナンチョの発祥が、現在は光市に本社を構えている。そして、現在は滞在型リゾートウエディングの代理店への提携や、欧州の見せ方に関しては、ウエディングの挙式数は前年20組に対して、前期31組、今期80組が見込まれ